

「高い理想と誠実な努力」

島根県立浜田高等学校
校長 西藤 昌裕

本年度最初の始業式から早くも1ヶ月、校舎前庭の桜の木も鮮やかな青葉となりました。今年もまた、見事合格の栄冠を手にした平成26年度卒業生、及び補習科修了生の皆さんから浜高の後輩のために頂いた原稿をもとに、受験体験記「合格へ向けて～先輩からの便り」を発刊することになりました。新生活当初の慌ただしいなか、それぞれの思いを記した原稿を届けて頂いた皆さんに心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年度の「合格に向けて」でも触れたとおり、私は浜高勤務の平成6年から13年にかけて5回の3年担任・補習科担任をしました。また、在任8年間ずっと補習科世界史を担当し、本科現役生や補習科生の受験指導には毎年の如く関わってきました。そんな私にとって、年度が改まるごとに発刊される本校の受験体験記を読むことは、学級担任として或いは科目担当として、自らの教科指導、そして進路指導の振り返りを行ううえでとても重要な作業でした。そのなかで、浜高を巣立っていった一人ひとりの生徒の表情を、そして頑張っていた彼らの姿を思い出しながら、「生徒のためにもっと頑張らなければ」とか、「生徒の願いを叶えるためにもっと自分に出来ることはないのか」との強い思いを持ちました。

本校の合格体験記では、合格の栄冠を勝ち取るために懸命に努力を重ねた先輩（同じ校舎で学んでいた）が自身の取り組みのなかで感じたこと、肝に銘じたこと、そして培ったことを、「後輩のために是非とも伝えておきたい」との熱い思いを持って綴っています。それ故、浜高生一人ひとりがその一言一句を真摯に受け止め、今後の高校生活の糧にすることで、浜高生の努力の証ともいえる受験体験記の価値は一層増していくと思います。この4月に、1年後の自分の姿を思い描きながら合格体験記を既に記した3年生は言うに及ばず、受験はまだ先のことと思っている1・2年生にこそ、この受験体験記を熟読し、有意義な高校生活を送るうえでの参考にしてほしいと願っています。「言うは易く、行うは難し」とされる勉強と部活動の両立をどのように達成していったのか、志望校はどの時期にどのようにして決定していったのか、志望校決定の大きな要因となったものは何だったのか、限りある時間のなかで受験勉強を実際にどのように進めていったのか、そして受験を乗り切るために仲間や家族とどう関わっていったのか等々、身近な先輩の実体験に基づいた言葉であるからこそ、君たちの心に訴えかけてくると思います。

「高い理想と誠実な努力」、浜高生であるなら皆が知っている浜高の教育目標です。毎年、この受験体験記を読むたびに、合格の秘訣は巻頭にも掲げたこの言葉にこそあると思ひ至ります。授業、ホームルーム活動、部活動など学校生活のあらゆる場面においてこの冊子が活用されることを心から願っています。そして、先輩の助言を素直に受け入れ、さらに自身の工夫を付加することにより、浜高の生徒諸君が各々の進路目標を確実に達成していくことを心から願っています。

(浜高合格体験記巻頭言 平成27年5月記)

